

Rotary

国際ロータリー
第2620地区御殿場
ロータリー
クラブ 週報御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2811回 例会プログラム

- 例 会 場／名鉄菜館
- 開 会 点 鐘／18:00
- 国 歌 斉 唱 ●ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／新年会(新会員歓迎会・年男大いに語る)



会 員 慶 事

- 会員誕生日／1月9日 石川又英君
1月21日 梶 喜朗君
- 夫人誕生日／山内 剛君 ご夫人 香世子様
芹澤正明君 ご夫人 賀寿子様
稲葉博之君 ご夫人 咲子様
- 皆 出 席／12月25日 勝又 誠君(ロータリー歴25年)

会 長 挨 拶

豊 山 篤



フランスの哲学者であり詩人でもあるポール・ヴァレリー (Paul Valéry) は、
「愚か者は確信に満ち、賢者は疑いに満ちている。」
Les sots sont pleins de certitudes, mais les gens sensés sont pleins de doutes. (レ・ソ・ソン・ブラン・ドゥ・セルティチュード、メ・レ・ジャン・サンセ・ソン・プラン・ドゥ・ドゥートゥ)
という言葉を残しました。

確信を持ったり確信に満ちていることは素晴らしいことのように思えますが、これは、「確信」＝「思考の停止」、つまり「確信」とは、思考を止める危険な快楽のようなもの、ということだそうです。彼は「常に考え続けること」を美德としました。

つまり、何かを強く信じることで体が悪いのではなく、「自分は絶対に正しい」と思った瞬間に、人は学ぶことをやめ、成長を止めてしまうということだそうです。

このような考え方に触れたことがなかったので、最初は何を言いたいのかわからず、イメージがうまくつかめませんでしたが、「常に考え続けること」を美德

とした、という説明の文章を見て少し納得することができました。

以前の会長挨拶の中で触れましたアインシュタインの言葉、
「昨日から学び、今日を生き、明日を信じよ。」
Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow.

にも通じるような気がします。確信を嫌うとは、この“学び”と“希望”を常に失わない努力をするということでしょうか。

私たちロータリアンも、長い歴史と伝統の中で「こうあるべきだ」「これが正しいロータリーだ」と、確信を持って行動してきました。

これはとても大切なことです。

しかし、同時に我々を取り巻く環境や世の中は少しずつ、しかし確実に変わってきており、新しい価値観や働き方の変化、世代の違いなどなど、多様性は着実に広がっています。もし私たちが「昔のやり方だけが正しい」と信じてしまえば、若い世代や新しい考え方を受け入れる柔軟さを失ってしまうかもしれません。

だからこそ、私たちは互いの考えを尊重し、意見を交換しながら、より良い答えを探し続けるクラブでありたいと思います。

私も、自分の中の確信らしきものを少しでも疑い（すべて疑うのは怖いですが）、他者の意見に耳を傾け、新しい発見を大切にできることを目指したいです。

会長挨拶は
こちら

12/18の出席報告

欠席者(5名)

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
54名	50名	45名	90%	100%

柏原大地君 鬼形慎太郎君
高橋隆造君 田代明人君 山内 剛君

※やむを得ず欠席される方は、
午前9時50分までにご連絡下さい。

12/18のスマイル

- ❶ クリスマス会には大勢のお客様にお越しいただきありがとうございました。またクラブ運営委員会の皆様には多大なご協力に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。 会長・幹事 **ビッグスマイル**
- ❷ クリスマス会ありがとうございました。おかげ様で大盛況の内に終わることができました。 クラブ運営委員会

UNITE
FOR
GOODよいことのために
手を取りあおう1月15日
は休会です次 回
1月22日の
例 会★東山荘講堂 ★12:30
★地区大会報告
プログラム委員会

上半期を顧みて

会長 豊山 篤



本日は上期最後の例会となりました。これまでの会員皆様からの、拙い会長への多大なるご支援に改めて感謝申し上げます。

7月から会長を拝命して半年、早く過ぎ去ったような気もしますが、いろいろとありましたので、逆に長く、それなりに充実していたような気がします。

いきなり私事の脂肪腫の切除手術で、皆様にご迷惑をおかけしたことからスタートしましたが、まずは上期の間に林泰博君と鬼形慎太郎君のおふたりを御殿場ロータリークラブの仲間としてお迎えすることができたことが最大にうれしいことです。共にロータリーを楽しみたいです。

8月の富士山清掃、11月の青少年交流の家オープンハウスに於いては、それぞれ担当委員会の下、多くの会員のご協力をいただきました。

10月には第2620地区静岡第2グループの合同奉仕事業としてフードドライブが行われ、会員の皆様から金品両面からの多くのご寄付をいただきました。ありがとうございました。また同じく10月には、御殿場市の姉妹都市であるアメリカ合衆国、チェンバースバーグ市からの訪問団のうち、ロータリーメンバーであるメレルご夫妻を我ら御殿場ロータリークラブの例会にお迎えしました。根上先生をはじめ担当委員会の皆様などのご協力で、とても温かい例会になったと思います。

そして何より、来年度からの会費の値上げにご承認いただきました。ありがとうございました。3年にかけての懸案でありましたので、正直なところほっと心をなで下ろしております。

最後に、今後の御殿場ロータリークラブにおける女性会員について触れさせていただきました。女性会員入会ありきということではありませんが、今現在企業メンバーとして入会いただき良好な関係を築いてきております各企業さんに於いては、後継のトップが女性になることは十分にあり得ることだとお聞きしております。その時のために御殿場ロータリークラブとして温かくしっかりと女性会員を迎える準備を確実にしておくことが、何よりも大切なことだと思います。会員の方からのご意見にもありました通り、最近気薄になってきている推薦人・スポンサーとの関係を今一度確実なものにすることも重要なことです。会員皆様のご理解をいただければ幸いです。

幹事 勝又 厚



半年を顧みた率直な感想はあっという間で慣れないせいもあり慌ただしくばたばたでした。会員の皆様に対しては、至らないところが多々ありご迷惑をお掛けいたしました。

本年度より、委員会の統合や2つの委員会を1人の委員長が担当する、また、例会数の関係で、話し合いの機会が少なくなるなど、委員会運営にはご苦労されたことと思います。

会員皆様のご支援とご協力に感謝いたします。

会長の方針でもある会員増強ですが、会員及び増強委員会の頑張りにより現在2名のフレッシュな新会員が入会してくれました。斎藤年度に3名、澁谷年度で3名、本年度2名と2年半の間に8名の新会員に入会していただき、クラブが、より明るく楽しい雰囲気に変化しているように思えます。クラブの活性化のために多種多様な人材を新会員に迎えられるよう今後共ご協力をお願いいたします。

下半期に向けては、IM、企業訪問、4クラブ合同観桜会と対外的な事業とともに御殿場RC60周年記念事業の実行委員会が本格的に稼働いたします。

下半期も会員皆様のご支援ご協力をいただき頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

SAA 橋本 喜市



上半期の例会は18回でした。

今年度、演台でお話しされた方はお気づきだと思いますが、時計を置くようにしました。東山荘では時計を正面に見ることができませんが、名鉄菜館では室内に時計はありません。演台でお話しされる方に時間を気にしてもらおうようにしましたが如何でしたでしょうか。今後、演台に立たれる場合は気にしてください。

そして御殿場クラブの食事中は各テーブルが大変にぎやかで楽しく懇親が図られていると感じます。その後例会になりますと目立った私語も無く粛々と例会が進んでいきます。早退される方も事前に報告をいただいております。

SAAとして2度の席替えを行いました。例会場所によってテーブル数が異なりますので2通り作成する必要がありますが、実際作成してみますとなかなか大変です。歴代のSAAさんも同じ思いだったのではないのでしょうか。

また、その日の出欠状況によっては微調整が必要になりますので事務局の遠藤さんにはその都度調整をしていただいております。例会欠席の連絡は例会当日の午前10時までに連絡するようになっていきます。なるべく早めに連絡をお願いします。

まだ、下半期がありますが皆様のご協力を得て御殿場クラブらしい例会運営ができますようお願いいたします。

12/4のメーキャップ

11月21日	せせらぎ三島	長田富夫君
12月5日	せせらぎ三島	神谷高義君
12月11日	北海道Eクラブ	梶 喜朗君
12月11日	北海道Eクラブ	高橋隆造君



司会
梶 喜朗君



出席報告
嶋田康一君



ソングリーダー
大胡田明寿君



会員誕生日
池上 司君 斎藤 衛君